

## お知らせ

本誌『陽明学』は、本号を以て市販（有料）という形を終えます。次号以降は、『二松学舎大学東アジア学術総合研究所陽明学研究所』発行となり、研究所（研究部）の紀要となります。

従いまして、現在までご購入いただきました読者の方々に、継続希望の方は研究所（研究部）まで文書でお申し込み下さい。

### ◎申込先

〒一〇二一八三三六

東京都千代田区三番町六一一六

二松学舎大学東アジア学術総合研究所

陽明学研究所

## 編集後記

本学の陽明学研究所は、平成十六年四月一日付で、開設される東アジア学術総合研究所陽明学研究所として出発します。

さて、本誌『陽明学』は、創刊号に当時の洪樵榕所長の編集後記に次のようにあります。

「今後『陽明学』は毎年発行する予定ですが、その度毎に内外を問わず過去に於ける著名な陽明学者の特集を併せ掲載致すことになりました。特集の編纂は、座談会の方式を採ったり、関係論文を掲載したり、或は研究会の活動を紹介したり、参考文献まで提供する等多彩に扱って行く」と記されており、以後の『陽明学』は、この洪所長の基本方針を守り、編集して今日に至っております。

これまでの陽明学研究所の機関誌『陽明学』は、本号第十六号を持って終刊となります。平成元年の創刊号以来、長きにわたってご購入頂きました読者の方々に厚くお礼申し上げます。

顧みますれば、昭和五十二年の本学創立百周年記念事業の一環として設立された陽明学研究所ですが、発足以来多くの方々のご支援を得て今日に至りましたこと、改めてお礼申し上げます。

この『陽明学』の次号は、那智惇斎特集号として、陽明学研究所としての発刊となります。

（川久保記）

陽明学（年一回発行）

第十六号

平成十六年三月三十一日

定価 本体一〇〇〇円＋税

送料 二四〇円

編集責任者

川久保 廣 衛

発行責任者

山田 安 之

発行所

二松学舎大学陽明学研究所

東京都千代田区三番町六一一六

郵便番号 一〇二一八三三六

電話 〇三―三三六―一三五四

発売所

株式会社 明徳出版社

東京都新宿区新小川町八一二六

郵便番号 一六二一〇八一四

電話 〇三―三三六―〇四〇一

FAX 〇三―三三六―〇四〇三

振替 〇〇一九〇―七五八六三四